

徳島県立三好病院より地域の皆様へ

「災害対応訓練特集」



傷病者救助にあたる救助隊とDMAT



ド راشシュ Tent 内での安定化処置



患者搬送システムに傷病者情報を登録



消防防災ヘリ「うずしお」にて三好病院へ航空搬送

今号の
内容

1. 西部圏域防災訓練
2. 西部圏域災害医療訓練
3. 三好病院災害対応医療訓練

はじめに 最近、災害は忘れる前にもやってくる

昨年は、4月に熊本県、10月には鳥取県中部を震源とする地震があり、大きな被害が発生しました。また、年末には茨城県で震度6弱の大きな地震が発生しました。三好病院では、熊本地震に対してはDMATや医療救護班の派遣、鳥取県、茨城県の地震に対しては地震直後からDMATの待機・派遣準備を行いました。これらの地震は、南海トラフ地震の前兆とも言われており、本県でも様々な防災対策が実施されています。さらに、熊本県、鳥取県の地震については、ノーマークに近いところで大きな地震が発生しており、本県西部地域においても他人事ではありません。しかも、中央構造線活断層という、既知の爆弾を抱えています。そのため、いざ、発災した際に災害医療という面で関係機関が連携し対応できる体制を整えておく必要があることから、昨年11月26日(土)に①西部圏域防災訓練、②西部圏域災害医療訓練、③三好病院災害対応医療訓練がそれぞれリンクして開催されました。今号はその様子を報告します。



避難所の様子

写真は熊本地震の被災地



被災した病院では患者の移送を実施(病院避難)



倒壊家屋

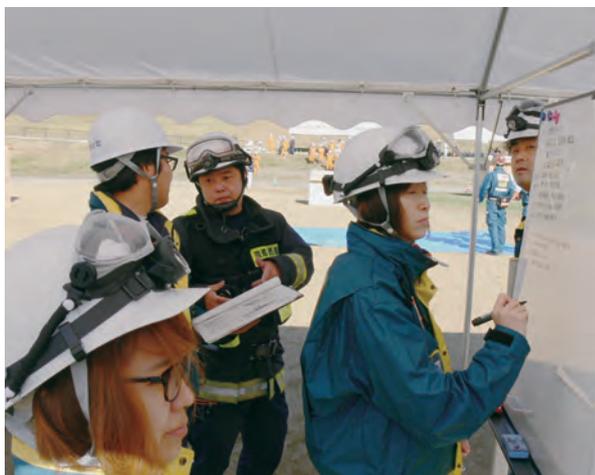
其の1 西部圏域防災訓練 ～消防と医療の連携～

防災関係機関の協力体制の確立・強化と県民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を目的として、県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町が主催、西部健康防災公園を主会場、三好市井川町井内、東みよし町法市(山間部孤立訓練)、三好病院を副会場として西部圏域単独の訓練としては初めて行われました。80機関、関係者およそ800人が参加し、参加型の防災体験や各種訓練が実施され、その中の一つとして消防と医療機関(DMAT)が協働した倒壊家屋からの多数傷病者救出、現場応急処置、医療機関への後方搬送の訓練を実施しました。

当日は、美馬西部消防の救助隊と三好市立三野病院、つるぎ町立半田病院、ハウエツ病院のDMATが参加。倒壊建物に見立てた災害現場から救出した傷病者を集積所でトリアージし、ドラッシュテントを用

いた現場救護所で安定化処置を行います。現場指揮所では消防とDMATが情報共有の後、衛星携帯電話で「三好病院DMAT活動拠点本部」と医療機関への搬送調整を行い、徳島県消防防災ヘリ「うずしお」による航空搬送などを実施しました。

因みに、三好病院DMATは訓練シナリオの作成と、当日は副会場の三好病院でDMAT活動拠点本部を担当しました。



被災情報の収集と共有



衛星電話を用いて活動拠点本部と連絡

其の2 西部圏域災害医療訓練 ～保健所・市町・コーディネーターの連携～

県の戦略的災害医療プロジェクト「基本戦略」に基づき、三好市、東みよし町と災害医療コーディネーターが検討した災害医療体制について、訓練をとおして検証することを目的の一つとして三好病院を会場に訓練を実施しました。

発災時には、各災害医療コーディネーターが三好市、東みよし町と連絡を取り、情報を収集してから三好病院に設置される「災害コーディネーター室」に集まり、対応を検討します。また、保健所を中心とした関係機関が集まる「現地医療対策支部」が三好病院に設置されます。参集した訓練参加者は、圏域の医療機関等の被災状況の収集、避難所で発生した傷病者の対応などを三好病院の災害対策本部やDMAT活動拠点本部と連携して行いました。



参集した保健所職員



保健師も加わり情報収集

其の3 三好病院災害対応医療訓練 ～本部運営と傷病者受け入れ～

三好病院では、毎年災害に備えた災害対応医療訓練を実施しています。今年度は西部圏域2訓練と同日に、病院災害対策本部の設置・運営、多数傷病者受け入れ訓練を実施しました。西部圏域防災訓練との連携として主会場及び副会場(井内ヘリポート)からの傷病者の航空搬送受け入れ、西部圏域災害医療訓練との連携として圏域の被災状況の調査、傷病者の受け入れ調整なども実施しました。発災後、管理棟2階にある院長室(兼災害初動室)に本部員が集合し、対応方針を決定。災害対応モードに移行し、多目的ホールに災害対策本部を設置、各部署からの被災状況報告をまとめ、傷病者の受け入れを決定。外来エリアにトリアージ、重症、中等症、軽症、不処置群エリアを展開し、次々と運ばれてくる傷病者の対応に当たりました。また、県DMAT調整本部からDMAT活動拠点本部を設置し、主会場で活動するDMATの指揮に当たるよう指示があり、当院の統括DMAT隊員を中心に対応に当たりました。



災害対策本部：院内外の情報収集



DMAT活動拠点本部：本会場のDMATを指揮



孤立地区からの傷病者搬送



傷病者の受け入れ

其の4 訓練を終えて ～更なる連携・体制強化へ～

訓練終了後、各会場で振り返りが行われ、各機関の連携が強化できたことが確認されましたが、まだ不十分な部分もある事がわかりました。三好病院においても、訓練を実施することにより災害対応の手順が確認できたのと同時に改善する点が沢山ある事がわかりました。今後、訓練の結果をさらに詳しく分析し、いざ、発災の際に十分な活動ができるようにシステムを変更したり継続した訓練を実施したいと思います。

～**県立三好病院基本理念**～
『誠実』で『信頼』される病院となる

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ 815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
発行 徳島県立三好病院 広報委員会

臨時看護師募集

随時募集しています。詳しくは当院ホームページをご覧ください。
<http://www.miyoshi-hosp.jp>

ご意見・ご要望がございましたら、ホームページ、または院内ご意見箱までお願いします。
広報バックナンバーは、ホームページ <http://www.miyoshi-hosp.jp> にてご覧になれます。